

官報

號外 昭和七年三月二十五日

○第六十一回 貴族院議事速記録第三號

帝國議會

昭和七年三月二十四日(木曜日)午前十時八分開議

議事日程 第三號

昭和七年三月二十四日

午前十時開議

一 國務大臣ノ演說ニ關スル件(第二日)

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ書記官ヲシテ諸般ノ報告ヲ致サセマス

(近藤書記官朗讀)

昨二十三日本院ニ於テ可決シタル左ノ政府提出案ハ即日裁可ヲ奏請シ又可決ノ旨ヲ衆議院ニ通知セリ

昭和六年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)

昭和六年度歳入歳出總豫算追加案(第二號)

昭和七年年度歳入歳出總豫算追加案(第一號)

昭和七年年度各特別會計歳入歳出豫算追加案(特第一號)

同日可決シタル陸海軍將士ニ對スル感謝決議文ハ即日之ヲ陸軍大臣及海軍大臣ニ送致セリ

同日滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案特別委員會ニ於テ當選シタル正副委員長ノ氏名左ノ如シ

委員長 伯爵林 博太郎君
副委員長 大島 健一君

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ會議ヲ開キマス、林特別委員長ヨリ特別委員會へ退

官報號外 昭和七年三月二十五日 貴族院議事速記録第三號

席ノ要求ガゴザイマシタ、許スコトニ御異存ゴザイマセヌカ

(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵德川家達君) 御異議ナシト認メマス

○議長(公爵德川家達君) 是ヨリ通告順ニ依リマシテ國務大臣ニ對スル質疑ノ發言ヲ許シマス、松村義一君

(加藤政之助君發言ノ許可ヲ求ム)

○議長(公爵德川家達君) 松村君ニ發言ヲ許シマシタ

(加藤政之助君「前ノ續キガアルノデスガ」ト述フ)

(松村義一君演壇ニ登ル)

○松村義一君 最近我國ノ狀況ハ流言蜚語ガ頻リニ行ハレマシテ、恐ルベキ暗殺行爲サヘモ引續キ實行セラレマシテ、社會ヲ通ジテ不安ニ襲ハレテ居ルノデアリマス、此社會不安ノ事態ハソレ自身憂慮スベキ重大ナル問題デアリマスルベカリデナク、政治經濟其他各般ノ方面ニ互リマシテ影響スル所ガ頗ル多いデアリマスカラ、私ハ此機會ニ於キマシテ此問題ニ付キマシテ犬養首相兼内相ニ御尋ヲ致シタイノデゴザイマス、嘗テ本院ニ議席ヲ有セラレマシタ井上準之助氏ハ、過グル二月九日ニ兇漢ノ毒手ニ罹リマシテ、悲惨ナル最期ヲ遂ゲラレタノデアリマス、引續キ三月五日ニハ、同ジク一味ノ者ハ財界ノ有力者デアリマシタ團男爵ヲ暗殺イタシタノデゴザイマス、井上氏ハ其經綸抱負ニ於テ卓越シテ居ラレマシタバカリデナク、極

メテ力強い政治家デアリマシタ、如何ナル盤根錯節ニ遭遇シテモ、不撓不屈ノ氣力ヲ以テ其抱負經綸ヲ實行セザレバ已マザルノ精神ヲ持ッテ居ラレマシタ頼母シイ政治家デアッタノデゴザイマス、團男爵ハ財界一方ノ支配者デアッタト共ニ、我國財界ノ功勞者デアリ其指導者ノ一人デアリマシタ、今財界不安デアリマシテ、之ガ立直シヲ要スルコトハ極メテ急デアルバカリデナク、國家ノ内外ニ互テ極メテ多事ナルノ秋ニ方リマシテ、此頼母シキ政治家ヲ失ヒ、財界ノ重鎮ヲ失フコトハ國家ノ大ナル損失デナケレバナリマセヌ、而シテ此國家ノ損失ハ彼ノ無思慮ニシテ卑怯ナル直接行動ニ依リマシテ連續的ニ容易ニ現出セラレマシタコトハ、文明國ノ名譽ノ爲ニ誠ニ悲シミニ堪ヘザル所デゴザイマス、此間ニ於キマシテ警察當局ハ能ク行政警察ノ機能ヲ發揮イタシマシテ、是等兇暴ナル犯罪ヲ未然ニ豫防スルコトニ付テ、萬全ノ力ヲ盡シタカドウカト云フコトヲ考ヘテ見マスル時ニ、私ハ幾多遺憾ノ點ヲ發見スルノデゴザイマス、顯著ナル事實ニ付テ見マシテモ、現内閣ガ昨年ノ暮成立イタシマシテ漸ク二箇月ニモ充タザル中ニ、帝都ノ治安ヲ掌ル警視總監ガ三度ビ更迭イタシマシタト云フコトダケヲ以テ見マシテモ、之ニ依ッテ警察ノ緊張ヲ缺キ、爲ニ公安ノ維持ニ缺陷ガアッタト申サナケレバナラヌノデゴザイマス、殊ニ井上氏ノ暗殺犯人ノ取調ニ至リマスルト極メテ粗漏デアリマシタ、犯行ハ二月九日ノ夜ニ行ハレタノデアリマスガ、十一日頃ノ新開ヲ見マスルト、共犯關係ガ漸次薄ラグト云フヤウナコトヲ報道シテ居リマス、十三日ニナリマスト全クノ單獨行爲デ、黒幕斷ジテナシト云フコトヲ各新聞ハ歩調ヲ揃ヘテ掲載ヲシテ居ルノデゴザイマス、斯ノ如ク各新聞ガ揃テ共犯關係ガナシト云フコトヲ報道イタシマスルコトハ、明カニ檢察當局ノ取調ノ經過ノ反映デナケレバナラヌノデゴザイマス、事實ニ於キマシテ三月五日團男爵ニ對スル兇行ガ行ハレマスル迄殆ド一箇月ノ間ハ、暗殺團一味ノ檢舉ハ全ク出來ナカッタノデアリマス、私共常識カラ考ヘテ見マシテモ、又私共ノ實際經驗ニ徴シテ見マシテモ、斯ノ如キ犯罪ニハ多クノ場合背景ガアリト思ハナケレバナラヌノデゴザイマス、又此度ノ井上氏ニ對スル犯人ノ素性カラ觀察イタシマシテモ、斯ノ如ク考ヘテ取調ヲ進行シナケレバナラヌノデゴザイマス、而シテ共犯關係ハ多クノ場合ニ於キマシテ、斯ノ如キ犯罪ニ於キマシテハ巧妙ニ行ハレテ居ルバカリデナク、犯人ハ覺悟ヲシテ犯罪ヲ敢行シテ居ルノデアリマスルカラ、其真相ヲ自白セシムルコトハナカナカ容易デアリマセヌ、故ニ檢察當局ハ之ガ取調ニ當リマシテハ極メテ注意深ク證據ノ蒐集ニ當リ、又犯人自身ニ對セナケレバナリマセヌ、犯人ト根較ベシテ、努力ニ努力ヲ重ネナケレバナラヌノデゴザイマス、然ルニモ拘ラズ犯罪ガ行ハレテ僅ニ數日ヲ經タル後ニ於キマシテ、共犯關係ナキガ如キ取調ノ狀態ニアリマスルコトハ、如何ニ考ヘマシテモ取調ノ粗漏、其不誠意ニ呆レザルヲ得ヌノデゴザイマス、殊ニ十四日頃内務省當局ガ選舉ニ關スル言論取締方針ノ一端ヲシテ發表セラレマシタル所ヲ見マスルト、井上氏ニ對スル兇行犯人ノ背後ニハ背景ガナシト云フコトハ、檢察當局ノ調査ニ依ッテ明瞭デアアルニ拘ハラズ、背景アルガ如ク揣摩臆測ヲセシムルヤウナコトガアルト云フコトハ、場合ニ依ッテハ公安ヲ對シテハ發言ノ中止ヲセシムルコトガアルカモ知レナイト云フヤウナコトガ學ガテアルノデゴザイマス、即チ内務省當局ハ、此暗殺犯人ニ背景ガアリヤ否ヤト云フコトガ選舉ニ場合ニ依ッテハ利用セラレルコトガアルカモ知レヌト云フコトヲ恐ルルノ餘リ、此犯罪ヲ成ルベク輕ク取扱ハム

明治二十五年三月三十一日 第三種郵便物認可

トスルヤウナ傾向サヘ見エタノデゴザイマス、茲ニ於テ私ハ治安維持ニ對スル政府ノ誠意サヘ疑ハザルヲ得ナイノデゴザイマス、而シテ檢察當局ノ取調ノ過程ニ於キマシテ、共犯ナシトノ歸結ニ至ラムトスルヤウナ事ヲ流布セラレ、又内務當局ガ此犯罪ヲ輕ク取扱ハムトシタルコトハ、今同ノヤウナ犯罪ニ其同盟ガアル場合ニ於キマシテハ、警察關係者自身ガ其犯罪ノ續行ヲ寧ロ誘導助長スルノ結果ヲ招來スルノデゴザイマシテ、私ノ最モ遺憾ニ堪ヘザル所デゴザイマス、若モ眞ニ當局ガ誠意ヲ以テ努力セラレマシタラバ、モウ少シ早ク彼ノ血盟團ノ檢舉ヲ見タデゴザイマセウ、其結果ハ團男爵ニ對スル兇行ハ確カニ防止シ得タト私ハ確信スルノデアリマス、斯ノ如クニシテ當局ノ不誠意、努力ノ足ラザル結果ハ遂ニ兇惡ナル暗殺ニ依リテ、財界ノ巨頭ヲ失フニ至リタノデゴザイマス、三月五日、團男爵ノ兇變ヲ見ルニ及ビマシテ、警察ハ周章狼狽ヲ極メマシテ搜查ニ盡力ヲ致シマシタ結果、漸クニシテ所謂暗殺血盟團ノ存在ヲ確カメ、最近ニ至リマシテ一味十數名ノ檢舉ヲ見タノデゴザイマス、傳フル所ニ依リマスルト、是等ノ者ハ尙ホ進ンデ政界財界ノ有力者ノ暗殺ヲ企テ居リ、其暗殺ヲ企ツルノ動因ガ帝國議會ノ否認ニアルモノノヤウデゴザイマス、誠ニ國家ノ爲ニ戰慄スベキ計畫ヲ藏シテ居タヤウデゴザイマス、事件ハ今檢舉中ニアアルノデアリマスガ、新聞紙ニ依リマスルト云フト、檢舉ニ政治的壓迫ガ行ハレルト云、又事件ノ擴大ヲ恐レテ司法當局ガ漸ク軟化セムトスルヤウナ様子ガアル、或ハ結局政治的解決ヲ爲スホカナイト云フヤウナ事ガ盛ニ報道セラレタノデゴザイマス、若シ是等ノ報道ガ事實ト致シマスナラバ、斯ノ如キコトハ如何ニモ文明國ニ有ルマジキ悲シムベキ事デゴザイマス、私ハ色々ノ情勢ヨリ推察イタシマシテ、此大事件ハ彼ノ井上日召ナル者ノ自首ニ依リマシテ、之

ヲ最後ノ大物トシテ檢舉ガ打切ラレルノデハナイカト云フヤウナコトヲ憂ヘテ居タノデゴザイマスガ、最近ノ狀態ハ不幸ニモ此ノ憂ヒノヤウニ進行ヲシテ居ルノデハナシカノヤウニ思ハレルノデゴザイマス、檢察ハ飽クマデ公明デナケレバナリマセヌ、檢察官マデ嚴正デナケレバナリマセヌ、斯クシテ初メテ治安ノ維持ガ確保セラルルノデゴザイマス、ソレニモ拘ハラズ假リニモ檢察ニ對シテ政治的解決ガ行ハレムトスルヤウナコトガ傳ヘラレマスルコトハ、既ニ其傳ヘラルルダケデモ公安ノ維持ニ缺陷ヲ來スノデゴザイマシテ、誠ニ私ノ遺憾トスル所デゴザイマス、併シ只今檢舉ハ續行中デゴザイマス、而シテ直接檢察ニ當テ居ル檢察諸君ハ、固ヨリ嚴正公平ニ事ニ處セムコトヲ欲シテ居ラルルコトハ疑ヒナイノデゴザイマスカラ、政府ニ於キマシテモ法ノ嚴正ナル維持ニ大ナル努力ヲ拂ハレムコトヲ私ハ警告イタシマシテ、其結果ヲ見ルコトニ致シマスガ、併シ彼ノ暗殺ノ首魁ト稱セラレマシタ井上日召ナルモノノ檢舉ニ當リマシテハ、日召ノ隠レテ居ル場所ハ分テ居ル、ソレニモ拘ハラズドウ云フ譯デゴザイマスルカ、警察ハ之ヲ引致スルコト能ハズ、唯其逃亡ヲ防グガ爲ニ多數ノ警察官ヲシテ、家屋ノ周圍ヲ警戒セシムルニ止メテ日ヲ曠シクシタノデゴザイマス、而シテ或仲介者ガアテテ事ヲ穩便ニヤリタイトノ申立ヲ爲シマシタ爲ニ、警視廳ニ於キマシテモ自首ヲ待ツコトニシタヤウデゴザイマス、而シテ自首ヲ待テ一日間ハ待チボケニ終リタヤウデゴザイマス、苟モ重大犯人ヲ檢舉スルニ當リマシテ、其犯人ノ居所ヲ知りナガラ曠日手ヲ空シウスルト云、遂ニハ一種ノ妥協ヲスルト云フヤウナコトハ、如何ニモ手緩イ感ジガ致シマス、帝都ノ中央ニ國家權力ノ及バナイ一種ノ不可侵ノ別天地ガアルカノヤウナ感ヲ一般ニ懷カシメマスコトハ、法ノ威信ヲ損ズルコト極メテ大ナルモ

ノガアルノデアリマス、斷ジテ治安維持ヲ確保スル所以デハナイノデゴザイマス、近頃我國ニ於キマシテハ歐羅巴ノ或國ニアリマスヤウナ極右ノ團體ガ彼方此方ニ出現シテ居ルヤウデアリマス、是等ノ團體ハ今回檢舉セラレマシタ所謂暗殺血盟團ト同ジヤウニ、帝國議會ヲ否認セムトシテ、之ガ手段トシテ兇暴ナル直接行動ヲ敢テ辭セナイト云フヤウナ考ヲ持テ居ルヤウデゴザイマス、而シテ是等ノ團體ハ從來極右傾ト稱セラレマシタモノノ中ニモ、又左傾ト稱セラレマシタモノノ中ニモ、漸次出來カカラムトシテ居ル様子デゴザイマス、又帝國ノ前途ヲ擔フベキ彼ノ有爲ノ學生ノ間ニモ生ジツツアルヤニ風聞セラレルノデゴザイマス、又團體ヲ組織シテ居ラス個々ノ人ノ間ニモ、斯ノ如キ考ヲ包藏シテ居ル人ガアルヤウニ傳ヘラレルノデゴザイマス、而シテ斯ノ如キ人ハ社會ノ有力ナル階級ニモ、亦自ラ有力デアルト誇稱ヲシテ居ル人達ノ間ニモアルヤウニ見エルノデアリマスガ、既ニ今回檢舉セラレマシタ暗殺團員中ニモ學生ガアリ、嘗テ學校教育ニ從事シテ居タ者ガアリ、又社會教育ニ從事シツツアリシ者モアルノデアリマス、又帝國ノ干城タルベキ軍人ガ此暗殺團ニ關係ガアッタヤウデアリマス、又近頃ノ出版物ヲ見マス、斯ノ如キ極右ノ思想ヲ持テ居ル人達ノ機關ハナイカト思ハルヤウナ出版物ガ一二アルノデゴザイマス、而シテ是等ノ出版物ハ盛ニ所謂「ファシズム」ノ思想ノ宣傳、其注入ニ努メテ居ルヤウデゴザイマス、以上ノ狀況デゴザイマスルカラ、今回檢舉セラレマシタ暗殺血盟團ハ全ク枝葉ニ過ぎヌノデゴザイマス、其根柢ハ他ニ深刻ナルモノガアルヤウニ思ハレルノデゴザイマス、枝葉ヲ剪除イタシマシテモ根本ヲ支取ルニ非ザレバ斯ノ如キ犯罪ハ之ヲ絶ツコトガ出來ナイノデゴザイマス、茲ニ於テ私ハ總理大臣ニ御尋ヲ致シタイノデアリマス、政府ハ此

憂慮スベキ事態ニ對シテ將來如何ニ處置セラレルノデアルカ、ソレニ付テハ大ナル決心ト大ナル覺悟ヲ要スルコト思フノデゴザイマスルガ、之ニ對スル御所見ヲ伺ヒタイノデゴザイマス、次ニ内務大臣トシテ是等ノ犯行ヲ未然ニ防止スベキ對策如何、即チ行政警察上ノ御意見ヲ御尋ネ致シタイノデゴザイマス、第三ニ既ニ述ベマシタ通り今回ノ事件ニ付キマシテ、司法警察官ノ態度ハ如何ニモ遠慮勝チデアリ、又不誠意デアッタノデアリマス、斯ノ如キ狀態ヲ以テ致シマシテハ能ク此兇暴ナル犯罪ヲ未然ニ防止シ得ルコトガ出來ナイバカリデナク、却テ斯ノ如キ犯罪ノ實行ヲ助ケル結果ニ相成ルト思フノデアリマスガ、將來之方是正ニ付テドウ云フ工合ニセラレルノデアルカ、其御所見ヲ伺ヒタイノデゴザイマス

(拍手起ル)

(國務大臣大義毅君演壇ニ登ル)

○國務大臣(大義毅君) 御答ヘ致シマスガ、松村君ノ御述べニナリマシタ通りニ實ニ悲シムベキ事件デアリマス、從來實業家ニシテ暗殺サレタト云フ例ハナイノデゴザイマス、唯金錢ヲ要求シテ與ヘナカッタト云フ爲ニ殺サレタ例ハアリマスガ、其外ニハ實業家ニハ例ガアリマセヌ、又其他政治ニ携ハッタ者ガ、政權ヲ離レテ野ニ下テ暗殺サレタト云フ例ハナイノデゴザイマス、ソレデアリマスカラ私共役人ヲ罷メルト別ニ警察官ガ演說會ニ行タ、デモ附イテモ何ニモ來マセヌ、ソレデ始終混雜スル間ヲ出入シテ居リマスガ、一ツモ暴漢ニ遭ッタコトガナイ、權力ニ離レテ暴漢ニ云フモノモ從テ又離レル、斯ウ云フ有様デアリマスカラ、多少誰カラ見テモサウ云フヤウニ見テ居タラウト思ヒマス、ソレカラ實業家ニ持テ行テ護衛ヲ附ケルト云フ譯ニモ行カナカッタラウト存ジマス、ソレカラ役人ヲ罷メテ護衛ヲ附ケラレタコトハ私モ經驗ハゴザイマセヌ、未然ニ之ヲ防グト云フコトハ餘程困難ナモノト、私ハ警察官ヲ

ヤタコトモ何モアリマセヌガ、餘程困難ト
思ハレル、前内閣ニ於キマシテモ練達堪能
ナル警視總監、練達堪能ナル警保局長ガア
テ、血盟團ノアルコトハ知ラレテ居、タラシ
イガ、未然ニ防グコトハ其位ノ練達堪能ナ
ル人デモ出来ナイノデス、ナカナカ向フノ
方ガ巧妙ナデス、ソレデアルカラ之ヲ其
未然ニ防グコトハ餘程困難ナコトデ
アラウト存ジマス、但シ私ハ警察官ヲ致シ
マセヌカラ實驗上ノ御話ヲ申スコトハ出来
マセヌ、ソレデ全體ノ今日ノ危險思想、是
ハ餘程廣汎ナ原因ヲ有、テ居ルモノト存ジ
マス、唯一部分デハナイ、ソレデ之ニ對シ
テドウ防禦スルカ、其成案ヲ此處ニ述ベル、

直ク之ヲ掌ヲ覆ヘスヤウニ改ムルコトガ出
來ルカ、是ハ餘程困難ナモノデアリマス、
ソレデ無論私共ハ著々此方ニ向、テハ働イ
テ行ク考ヲ……決心ヲ有、テ居リマス、ソ
レデ其餘ニ互ル御尋ハ多クハ警察ノ事務
上、技術上ニ互ルヤウナコトモアリマシタ、
例ヘバ之ニハ背後ニ使喚者ハナイカ、無イ
ト云フコトノ顔ヲシテ居、案外アルコト
ヲ認メテ警察ハ手ヲ伸バサニヤナラヌト云
フ場合モアリマセウ、是ハ警察技術、是ハ
私ニハ分リマセヌ、ソレ故政府委員カラ詳
シイコトハ御答ヲ致シマスカラ、大體ニ付
テ私ハ是ダケノ御答ヲ致シテ置キマス

必要アリト致シマシテ、各府縣ニ二百名近
キ増員ヲ致シマシテ、是等ノ不正所持者ノ
調査取締ヲ致スコトニ致シマシタヤウナ次
第デゴザイマシテ、今後治安維持上ニ於キ
マシテハ最善ノ力ヲ致シテ事無キヲ期シテ
居ル次第デゴザイマス

此點ニ付テハ御諒承ヲ願ヒタイト存ジマ
ス、序デナガラ申上ゲテ置キマスルガ、幾
多左様ナコトノ御話ノ出マシタコトハ、只
今ノ御話中ニモ文明國ニ於キマシテ暗殺ノ
行ハレマスルコトハ誠ニ不祥ノ事デアリマ
シテ、殊ニ我ニ日本人ノ教ト致シマシテ武
士ノ道カラ申シマスルナラバ、古ハ聲ヲ掛
ケテ後ニ果シ合フ致シタコトト承、テ居リ
マス、又寢首ヲ擡クコトガ日本ノ武士道ト
致シマシテハ誠ニ恥ヅベキコトト致シマシ
テ、名乗ヲ揚ゲタコトデアリマスルノデ、
古ヨリ……私共ノ最近ニ承知ヲ致シマシタ
コトデアリマシテモ、嘗テハ森文部大臣、
更ニ最近ニ於キマシテハ原首相、濱口首相
次イデ只今御話ノアリマシタヤウナコトノ
アリマシタコトハ、私共日本人ト致シマシ
テ誠ニ申譯ノナイコトト同胞ノ一人ト致シ
マシテ、誠ニ悲ムコトニ存ズルノデゴザイ
マス、併ナガラ今日茲ニ尙ホ申上ゲテ置キ
タイト存ジマスルコトハ、我ニ承知ヲ致シ
テ居リマスル所ノ世相デアリマスルガ、只
今總理大臣カラモ縷々申上ゲタヤウデアリ
マスガ、是等ノ有爲ナル青年、是等ノ有爲
ナル我ニ同胞ヲシテ、此凶事ヲ起サシメ
マシタル所ノ幾多ノ原因ニ付キマシテハ、
今後永遠ニ私共ハ之ヲ排除イタシマシテ、
斯様ナ有爲ナル青年ガ眞ニ御國ノ爲ニ働ク
ヤウニ致スベキ方法ヲ執ラネバナラヌト考
ヘテ居ルノデアリマス、是ハ我ニ統督ヲ致
シテ居リマスル所ノ各青年將校並ニ在郷ノ
方ニノ間ニ於キマシテモ、屢ニ御話ヲ承
ルノデアリマスルガ、外カラ幾多ノ原因ガ、
遂ニ最モ單純デアリマスル所ノ青年將校ヲ
致シマシテ、一方ニ於テハ國政ニ參與スル
所ノ力ヲ持、テ居リマセヌ、統帥權一本デ
立、テ居リマスル是等ノ青年將校ヲ致シマ
シテ、生一本ニ此國情ヲ憂ヒマシテ、燃エ
テ居リマスル所ノ其熱ニ外カラ之ニ油ヲ掛ケ
マスルト、茲ニ非常ニ面白カラザル軍ノ内
容ニ於キマシテ思想ヲ起スノデアリマス、

腹案ハ有、テ居リマス、併ナガラ茲ニ的確ニ
御答イタスコトハ出来マセヌカラ、唯抽象
的ニ申セバ第一國際關係ノ上ニモ一ツ考ヘ
ナケレバナラヌノデス、策源地ハ何處ニ在
ルカ、斯ウ云フコトニ付テモ是マデノ通り
デハイケナイと思、テ居ルノデス、ソレカラ
又是ノ入ル門口ト云フモノノ取締モ、餘程
十分ニ警戒セナケレバナラヌモノと思フ、
之ニ對シテモ一ツノ考ヲ有、テ居リマス、ソ
レカラ一體ノ思想、無論純粹ナル思想カラ
生ズルコトモアリマス、私共ノ壯年ノ頃デ
アリマシテモ、其後ニハ濃厚篤實ナル君子
ト言ハレル人デ革命論ナドヲ主張シタ人モ
アルノデアリマス、ソレデアルカラ段々ソ
ンナモノハ社會ノ狀態ガ直、テ來レバ、改マ
ルノガ過半ハ出來テ來ルデアラウト斯ウ
思、テ居リマス、ソレデ唯之ヲドウスレバ宜
イカト仰セラルレバ、私共ノ腹案カラ申
シマスレバ教育制度ノ上ニモ餘程考ヘネバナ
ラヌノデス、國際關係ノ上ニモ考ヘナケ
レバナラヌノデス、ソレカラ生活問題、失
業者其外ニ關係、是モ餘程考ヘナケリヤナ
ラス、ソレデ有識階級ノ失業者ガ殆ド瀾漫
シテ居ルト云フ有様デアルカラ此始末モシ
ナケレバナラヌ、斯ウ云フモノデア、テ極メテ
廣汎ニ互、テ居リマスカラ、ドウシタナラバ

○政府委員(森岡二郎君演壇ニ登ル)
帝都ノ治安維持
ノ上ニ於キマシテハ、平素深ク注意ハ致シ
テ居ル次第デゴザイマス、然ルニ二月九日
及三月五日、アノ事件ガ起リマシタコトハ
誠ニ遺憾ニ堪ヘナイ次第デゴザイマス、此
兩事件ノ捜査ノ上ニ於キマシテハ、共犯關
係ナシトカ云フコトヲ發表シ、若クハ其結
果ト致シマシテ捜査上遺漏ハナカッタコト
云フコトデゴザイマシタガ、事件ハ只今調
査取調中デゴザイマス、内容ハ只今調
査上デマスコトヲ御遠慮申上ゲタイト存ジ
マスガ、併シ只今御質問ノ如ク遺漏ノナカ
タコト云フコトハ……斷ジテゴザイマセ
ヌ、ソレ……此事件直後直チニ調査ニ著手
イタシマシテ、事件間モナク相當見當ヲ付
ケ、著々ソレニ依、テ進行イタシタヤウナ
次第デゴザイマス、尙ホ今後ニ於キマシテ
斯ノ如キコトヲ繰返サセナイヤウニ未然防
禦ノ對策ガアルカト云フコトデゴザイマス
ガ、警察上、事務上ト致シマシテハ、事件
起リマスヤ否ヤ直ニ之ニ付キマシテ種々考
究イタシマシタノデゴザイマスガ、其結果
ト致シマシテ、警視廳内ニ於ケル職務ノ關
係ヲ改廢シ、或ハ關係府縣トノ連絡ヲ一層
緊密ニシ、殊ニ三月一日ヨリ銃砲火藥ノ取
締ノ上ニ於キマシテ、最モ周到ナル取締ノ

必要アリト致シマシテ、各府縣ニ二百名近
キ増員ヲ致シマシテ、是等ノ不正所持者ノ
調査取締ヲ致スコトニ致シマシタヤウナ次
第デゴザイマシテ、今後治安維持上ニ於キ
マシテハ最善ノ力ヲ致シテ事無キヲ期シテ
居ル次第デゴザイマス

此點ニ付テハ御諒承ヲ願ヒタイト存ジマ
ス、序デナガラ申上ゲテ置キマスルガ、幾
多左様ナコトノ御話ノ出マシタコトハ、只
今ノ御話中ニモ文明國ニ於キマシテ暗殺ノ
行ハレマスルコトハ誠ニ不祥ノ事デアリマ
シテ、殊ニ我ニ日本人ノ教ト致シマシテ武
士ノ道カラ申シマスルナラバ、古ハ聲ヲ掛
ケテ後ニ果シ合フ致シタコトト承、テ居リ
マス、又寢首ヲ擡クコトガ日本ノ武士道ト
致シマシテハ誠ニ恥ヅベキコトト致シマシ
テ、名乗ヲ揚ゲタコトデアリマスルノデ、
古ヨリ……私共ノ最近ニ承知ヲ致シマシタ
コトデアリマシテモ、嘗テハ森文部大臣、
更ニ最近ニ於キマシテハ原首相、濱口首相
次イデ只今御話ノアリマシタヤウナコトノ
アリマシタコトハ、私共日本人ト致シマシ
テ誠ニ申譯ノナイコトト同胞ノ一人ト致シ
マシテ、誠ニ悲ムコトニ存ズルノデゴザイ
マス、併ナガラ今日茲ニ尙ホ申上ゲテ置キ
タイト存ジマスルコトハ、我ニ承知ヲ致シ
テ居リマスル所ノ世相デアリマスルガ、只
今總理大臣カラモ縷々申上ゲタヤウデアリ
マスガ、是等ノ有爲ナル青年、是等ノ有爲
ナル我ニ同胞ヲシテ、此凶事ヲ起サシメ
マシタル所ノ幾多ノ原因ニ付キマシテハ、
今後永遠ニ私共ハ之ヲ排除イタシマシテ、
斯様ナ有爲ナル青年ガ眞ニ御國ノ爲ニ働ク
ヤウニ致スベキ方法ヲ執ラネバナラヌト考
ヘテ居ルノデアリマス、是ハ我ニ統督ヲ致
シテ居リマスル所ノ各青年將校並ニ在郷ノ
方ニノ間ニ於キマシテモ、屢ニ御話ヲ承
ルノデアリマスルガ、外カラ幾多ノ原因ガ、
遂ニ最モ單純デアリマスル所ノ青年將校ヲ
致シマシテ、一方ニ於テハ國政ニ參與スル
所ノ力ヲ持、テ居リマセヌ、統帥權一本デ
立、テ居リマスル是等ノ青年將校ヲ致シマ
シテ、生一本ニ此國情ヲ憂ヒマシテ、燃エ
テ居リマスル所ノ其熱ニ外カラ之ニ油ヲ掛ケ
マスルト、茲ニ非常ニ面白カラザル軍ノ内
容ニ於キマシテ思想ヲ起スノデアリマス、

之ニ付キマシテハ我々ハ出來得ル限り是等ノ國ヲ憂フル忠誠ノ念ニ付キマシテハ誠ニ愛スベキコトデハゴザイマスルガ、一步誤リマスルト其生一本ナ血ガ燃エマシテ、如何ナル一氣ノ考ヲ持タヌトモ考ヘマセヌノデ、是ハ外カラス様ナコトヲ以テ此生一本ノ者ヲ思ヒ詰メサセマセヌヤウニ切ニ致シタイト、此點ニ付テハ憂慮イタシテ居ル次第デアリマス、斯様ナ狀態デアリマシテ只今御話ノゴザイマシタ點ハ明瞭ニ私ハ其關係ヲ承知イタシマセヌガ、帝國國軍ノ爲ニ此處ニ一應辯明ヲ致シテ置キタイト存ズル次第デアリマス、尙ホ我々干城ト致シマシテハ忠誠ノ信念ニ於キマシテハ毛頭變テ居ラヌノデアリマシテ、又毛頭變シテ居リマセヌノデ、今後ニ於キマシテモ此點ニ付キマシテハ十分努力ヲ致ス次第ゴザイマスノデ、此點タケテ誤解ガゴザイマスルト又國軍ノ上ニ疑惑ヲ遺シマスルノデ、一應此點ヲ申上ゲテ置キタイト思ヒマス

〔松村義一君演壇ニ登ル〕

○松村義一君 只今私が質問申上ゲマシタコトニ付テ陸軍大臣ヨリ御心配ニナリマシテ色々御辯明ガアッタノデアリマス、私が申シマシタ中ニ今回ノ暗殺血盟團ニ帝國ノ干城タルベキ軍人ガ關係ガアルト云フヤウナコトヲ申上ゲタ爲ニ大變御心配ヲ懸ケタノデアリマス、實ハ其事實ヲ具體的ニ初メ申上ゲレバ宜カッタノデアリマスルガ、如何ニモ名譽ノ戰死ヲ遂ゲタ人ニ對シテ傷ヲ付ケマスヤウニ相成ルコトヲ憂ヘタ爲ニ申上ゲナカッタノゴザイマス、併シ大變御心配デアリマシテソレガ爲ニ一般ノ軍人諸君ニ御迷惑ヲ懸ケルヤウナコトニナルト云フコトハ一層心配ヲシナケレバナラヌコトゴザイマスルカラ、私ノ申上ゲタコトニ付キマシテノ事實ノ根據ヲ一應申上ゲマス、私が申上ゲマシタノハ藤井少佐ゴザイマス、藤井海軍少佐ゴザイマス、「ピストル」ヲハ挺買テ、而モ大連ニ於キマシテ他人ノ名

前ヲ冒用シ、或ハ他人ニ名前ヲ貸シテ賣テ、八挺「ピストル」ヲ買テ而シテ此「ピストル」ヲ今回ノ血盟團ノ犯人達ニ渡シタノデアリマス、態、人ノ名前ヲ冒用スル、或ハ人ニ依頼ラシテ名前ヲ貸シテ賣フト云フコト迄モシテ、「ピストル」ノ八挺ヲ買テ、此「ピストル」ヲ血盟團ノ人達ニ渡シタト云フコトカラ考ヘマシテモ、固ヨリ亡クナタ人デゴザイマスルカラ、能クハ分リマセヌモノ、コレダケノ事實ヲ以テ見マシテモ、相當ノ關係ガ有リト考ヘナケレバナラヌノデアリマス、從テ私ハ敢テ事實ヲ申上ゲタノゴザイマス、固ヨリ名譽ノ戰死ヲ遂ゲタ軍人ニ對シテ、斯ノ如キ疑ヲカケマスト云フコトハ、誠ニ氣ノ毒ニ堪ヘヌノデアリマスルケレドモ、事實ハ事實トシテ有ルノゴザイマスルカラ、是ハ明瞭ニ致サナケレバナラヌノデアリマス、此事實ヲ私ハ申上ゲタノデアリマス、尙ホ總理大臣ハ先程私ノ質問ニ對シテ御答ヘナリマシタガ、先程ノ御答タケデ以テ見マスルト、能ク私ノ質問ヲ御聽キ下サテ居ラスガ如ク見エルノデアリマス、今日「フアシズム」ノ思想ヲ持チ、其團體ヲ彼方此方ニ作テ居リマスコトハ、事實目前ニ現ハレテ居ルノゴザイマス、從テ是等ノ團體ガ漸次彌漫ヲ致シマスルコト云フコトハ、今回ノヤウナ暗殺ガ起リマスルコト云フ大ナル原因ヲ成シマスルモノデ、是等ノ問題ニ對シテハ焦眉ノ急トシテ相當ノ御考ガ總理大臣トシテナケレバナラヌノデアリマス、ソレニ對シマシテモ御答ト致シマシテハ極メテ不徹底、不十分ニ考ヘルノデアリマス、又今回ノ血盟團ノ取調ニ當リマシテモ、先程申上ゲマシタヤウニ、如何ニモ司法警察官ノ態度ハ手緩イ、不誠意デアッタト云フハ事實デアッタノデアリマス、事實ガアルノゴザイマス、ソレヲ是正スル爲ニ内務大臣ハ如何ニ御考ヘナリマシテ居ルカ、斯ウ云フコトヲ御尋ネシタノデ、單純ニ警保局長位ノ

人ガ御答ヘヲサルベキ問題デハナイノゴザイマス、要スルニ、要ハ公明ニ嚴正ニヤルト云フ内務大臣ノ精神如何ニアルノデアリマス、併シ強ヒテ私ハモウ追及ハ致シマセヌ、唯、今後ノ政府ノ御態度ヲ十分ニ監視ヲ致シマシテ、將來如何ニナルカト云フコトニ付テ、能ク時日ヲ待テ見タイト思フノゴザイマス、ドウカ政府ニ於カレマシテモ、是等ノ不安ナル社會狀態ニ對シマシテ、眞ニ御誠意ヲ以テ慎重ニ御注意ニナラムコトヲ、切ニ希望ラシテ已マナイモノデゴザイマス

○議長(公爵徳川家達君) 志水小一郎君

〔志水小一郎君演壇ニ登ル〕

○志水小一郎君 本員ハ惡ビレタル質問ヲ致シマシテ、好ンデ政府攻撃ヲ爲ス者デハアリマセヌ、即チ大義内閣ハ總選舉ニ於テ大勝利ヲ博セラレマシタカラ、此儘順調ニ進展セラレマシタナラバ前途ハ洋々海ノ如キモノガアラウト思フノデアリマス、唯前途ニ於テ、前途ニ横ハル所ノ暗礁ト云ハムガ如キモノハ何デアルカト言ハバ、財政經濟ノ問題ト對支問題ト此二ツデアラウト考ヘルノデアリマス、而シテ本員ハ財政經濟ノ問題ニ付キマシテハ、何等ノ知識モナク、何等ノ經驗モ有シマセヌカラシテ、沈黙ノ義務ヲ守リマシテ、之ヲ其筋ノ先輩及専門家ニ譲リマシテ、本員ハ主トシテ對支問題、殊ニ上海及滿洲ニ於ケル我が軍事行動ニ關スルコトニ付テ御尋ヲ致スノデアリマス、本論ニ入ルニ先ダテ、特ニ一言ヲ要スルノハ、本員ハ我が陸海軍ノ行動ニ據ラザルモノガアルガ爲ニ此質問ヲ爲スノデアリマセヌ、我が陸海軍ノ無比ノ忠烈顯著赫々ノ功績ハ十分之ヲ認メマシテ、尙ホ之ニ對シテ大キニ期待スルモノガアリマスルガ爲ニ此御尋ヲスルノデアリマス、先ヅ伺ヒタイノハ、政府ハ上海ニ於ケル我が軍事行動モ玆ニ一段落ヲ告ゲタルモノトセラルヤウニ聞エマスルガ、果シテサウデアリマスナ

ラバ、如何ナル意義ニ於テ我が軍事行動ガ一段落ヲ告ゲタノデアリマセウカ、ソレガ伺ヒタイ、我が軍事行動ノ目的ガ専ラ上海ニアル所ノ我が帝國臣民ノ生命財產ヲ、局地ニ保護スルコト云フコトデアリマスルナラバ、或ハ軍事行動ノ一段落ト云フコトヲ得ルノデアリマセウガ、我が軍事行動ノ目的ハ、其他支那當局及支那國民ガ多年我ニ對シテ加フル所ノ排日、排貨、侮日、暴行、虐殺等、種々ノ非禮ヲ膺シテ、彼ヲシテ反省セシムルニアルト云フノデアリマセヌカ、サウ本員ハ伺ヒテ居ルノデアリマス、ソレガ果シテ事實デアリマスナラバ、是迄ノ我が軍事行動ハ恐ラク未ダ以テ目的ノ十ガ一ヲモ達スルニ足ラヌノデアラウト思ヒマスガ如何デアリマスカ、其目的ヲ達スルヲ得ルノ日ハ前途尙ホ遠達デアラウト思ハレマスガ、政府ガ今日ノ狀態ニ満足セラレマシテ、軍事行動ノ一段落ヲ告ゲタリト爲シ、以テ多數ノ陸海軍ノ兵力ヲ撤回セララル理由ガ伺ヒタイノデアリマス、尙ホ御尋イタシマスルノハ、我が軍事行動ノ目的ハ、專ラ帝國臣民ノ生命財產ヲ局地ニ保護スルニアリト致シマシテモ、上海ノ外ニ我が國民ノ居留地ハ長江沿岸ニ幾多アリマシテ、之ニ住スル帝國臣民ノ數モ亦少カラヌデアリマセウ、是等ニ對スル局地保護ハ遺憾ナキヲ得ルノデアリマセウカドウカ、是モ御尋デアリマス、又御尋ハ我軍ト支那軍トノ間ニ停戰條約又ハ中立地帶設置條約等ガ締結セラレムトシツツアルヤウニ聞エマスガ、事實デアリマスナラバ之ヲ必要トセラル理由ガ伺ヒタイノデアリマス、此種ノ條約ハ成程劣弱軍ノ爲ニハ或ハ必要デアリマセウ、併シ百戰優勝ノ地位ニアル我軍ノ如キニハ、其必要ハアルマイカト思ハレマスルガ、尙ホ此種ノ條約ノ締結ヲ必要トセラル理由ガ伺ヒタイノデアリマス、若シ我が軍略上ノ必要トハ相關セズシテ、政略上、外交上、殊ニ國際聯盟トノ關係ニ於テ、斯ノ如キ條約ヲ

締結スルノ已ムヲ得ヌト云フコトデアリ
マセヌカ、若シサウ云フコトデアリマシタ
ナラバ、此種ノ條約ガ締結サレテ、軍事行
動ガ制限セラルト云フコトニナリマシタ
ナラバ、上海ニ於テハ我が陸海軍ノ精銳ヲ
遺憾ナク發揮スルコトハ出來ナイコトニナ
リハ致シマセヌカ、其結果軍事行動ハ曠日
彌久、意外ノ持久戰ニ陥リマシテ、多大ノ
犠牲ヲ拂ハザルベカラズ、其犠牲ヲ拂フノ
多キ割合ニハ因テ得ル所ノモノハ甚ダ少
ク、結局我軍ノ失敗ニ歸スルニ至ルノ虞ハ
ナイノデアリマセヌカ、是モ御尋デアリマ
ス、又御尋ハ、上海ノ共同居留地内ニハ戒
嚴令ガ布カレテ居ルニ拘ラズ、其戒嚴令ニ
依テ、共同作戰ニ付テノ嚴密ノ規約ガアル
デモナク、共同作戰ニ付テ指揮命令ヲ爲ス
所ノ共同司令官ガアルノデモナク、唯戒嚴
令ガ布カレタト云フコトデアリマシタ、唯戒
義ガ一向分ラヌノデアリマシタ、要スルニ
上海ニ於ケル戒嚴令ト云フモノハ甚ダ不備
ナモノデアリマシタ、我が帝國ノ軍事行動ニ付
テ、屢、列國ノ抗議ヲ受クルノモ、畢竟戒嚴
令ノ不備ナルガ爲デアリマシタ、是ハ
如何デゾイマス、是モ御尋デアリマシタ、
次ハ滿洲問題、殊ニ所謂新國家問題ニ付テ
デアリマシタ、所謂新國家ノ出現、成立、
成長、發達ト申スコトハ、滿洲三千万民族
ノ爲ニハ申ス迄モナク、日本ノ爲メ乃至東
洋平和ノ爲ニハ至大至緊ノ關係ガアルノデ
ハアリマセヌカ、ソレカラ滿洲新國家ナル
モノハ、其聲明スル所ニ依レバ國家タルノ
資格要件ハ悉ク備ハルノミナラズ、所謂國
際近世國家トシテノ資格要件モ亦備テ居
ルヤウニ窺ハレルノデアリマシタ、サスレバ
其滿洲ノ新國家問題ニ付テ、傍觀坐視スル
ノミヲ以テ策ノ宜シキヲ得タルモノトセラ
ル譯ニハ參ラヌト思ヒマスガ、如何デア
リマセヌカ、抑、之ニ對スル政府ノ御方針
ハ如何デアリカ何ヒタイノデアリ、又列強
中ニハ滿洲民族ノ所謂新國家ニ關スル運動

ヲ認メテ、是ハ帝國軍人ノ動作ノ結果デア
ル、所謂民族自決ト相關セヌト云フコトヲ
申シマシテ、新國家ノ承認ヲ拒ムノ同盟ヲ
形ゾクシタムトシツツアルヤニモ聞エルノデ
アリマシタ、所謂滿洲ノ新國家問題ハ、滿
洲民族ノ自覺、醒覺ニ基クモノデアリマシ
タ、之ヲ認メテ帝國軍人ノ動作ノ結果ト爲
スガ如キハ、固ヨリ甚シキモノダト考ヘマス
ガ、政府ノ御所見ハ如何デアリマセヌカ、
府ノ御所見ハ如何デアリマセヌカ、是モ
伺ヒタイ、ソレカラ新國家ニ對シテ不承認
同盟ヲ作ルガ如キハ尙ホ可ナリ、若シ支那
南北ノ軍閥ナリ南方政府ナリ、又ハ第三
ナリガ兵力ヲ以テ之ニ干渉シ、其出現成立
ヲ妨害スルヤウナコトガアリマシタ如何
デアリマセヌカ、サウ云フコトニナリマス
レバ、所謂新國家モ亦必ズ兵力ヲ以テ之ニ抗
敵スルニ違ヒアリマセヌカ、此場合ニハ全滿
洲ハ忽チ修羅場ニ化スルニ相違アリマセ
ヌカ、而シテ斯ノ如キコトアルヲ慮ルノハ斷
ジテ杞憂デナイト思ヒマス、且ツ斯ノ如キ
コトニ不幸ニシテ遭遇シタナラバ、帝國日
本ハ國力ヲ擧ゲテ之ヲ鎮壓鎮定セネバナ
ラヌト思フノデアリマシタ、之ニ反スルノ措
置ハ、田中内閣以來我政府ガ屢、明言シタル
所ノ滿洲ニ絕對ノ平和ヲ致シテ、滿洲ヲ無
限ノ樂土タラシムルト云フ聲明ハ全ク裏切
ラレルコトニナリマシタ、斯ノ如キ聲明ト相
容レザルコトニナルノデアリマシタ、政府ハ果
シテ其御決心ガアリマセヌカ、御決心ガアル
ナラバ必ズ其御決心ニ伴フ準備ガナクテハ
ナリマセヌカ、政府ハ果シテ其御決心アリヤ、
及ビ其準備アリヤト云フノガ最後ノ御尋ネ
デアリマシタ

（國務大臣大藏卿君演壇ニ登ル）

○國務大臣（大藏卿） 志水君カラ御尋ネ
ニナリマシタ中ノ、陸軍大臣カラ答ヘラレ
ル方ガ適當ナ事柄モゴザイマスシ、ソレカ
ラ外務大臣カラ答ヘラレルノガ適當ナモノ
モゴザイマス、外務大臣ハ只今丁度委
員會ニ臨ンデ居リマシテ是ハ參ルコトガ出

來マセヌカ、ソコデ上海ノ問題トソレカラ滿
洲ノ問題ト、此大體ニ付テハ私カラ御答ヲ
致シマス、上海ハ的確ニ此處ニ申上ゲル未
ダ場合トモ考ヘマセヌカ、段々一段落ヲ告
グル順序ニハナリツツアルノデアリマス、
斯ウ私共ハ見テ居リマス、併ナガラドウ變
化シマス、案外、九分九厘迄付キ掛カ、タ
モノガ、何カ變化ガ起ルカドウカト云フ
コトハマダ的確ニ御答ヘ出來マセヌカ、大
體カラ見テ一段落ヲ告グサウダ見テ居リ
マス、而シテ如何ナル場合ニ軍隊ハ撤退ス
ルカト云フコトハ、是ハ陸軍大臣カラ御答
ヲ致シマス、ソレカラ上海ノ戒嚴令ノ始末、
是モ何レ御答ヲ其方カラ出來ルト存ジマ
ス、ソレカラ滿洲新國家ニ對シテ承認ス
ルヤ否ヤ、是ハマダ後來是ガ固マリマシ
テ、……實ハ今ノ所ハ固マリカ固マリマシ
ト云フコトハマダ餘程疑問モアリマス、ソレ
故ニ我々ノ希望トシテハ、是ガ完全ナル國
家トシテ成立シテ、喜ンデ此方カラ承認ス
ルト云フ場合ニナルコトヲ希望シテ居リマ
ス、ソレデ無論個人トシテハ助ケ合、テモ
居リマセヌカ、併ナガラ國トシテハ今日之ヲ
別ニ助成シ、殊ニ成立シテ行クト云フ動
作ハ執テ居リマセヌカ、彼自カラ民族自決ノ
上デ成立テ居ル、完全ニ成立チマスレバ無
論承認イタシマス、又承認スル時期ニ達ス
ルコトヲ希望イタシテ居リマス、此場合ニ、
ソレ迄ノ間ニ他カラ之ニ軍隊ガ飛込シテ來
ハセヌカト、是モ種々ナ方面カラ考ヘマシ
テ最惡ノ場合ヲ考ヘマシマス、山海關以外
ニ支那カラ討伐軍ヲ送ルカモ知レマセヌカ、
是ハ送ルカ送ラヌカト云フコトハ見込ダケ
デマダ分リマセヌカ、送テ來タ時ニドウス
ルカ、日本ハ前ニ、騷亂時代ニ取リマシタ
態度ノ通りニ、日本ノ權益ヲ紛亂狀態デ害
セラレルト云フ場合ニハ、ドウシテモ日本
ノ軍隊ハ之ヲ防禦スル、是ハ已ムコトヲ得
ヌカ、次第デアリマス、併ナガラ成ルタケ左様
ナ事態ニ及バザルコトヲ希望イタシテ居リ

マス、是ガケハ私カラ御答ヘ致シマスルガ、
其外ハ陸軍大臣ナリ外務大臣……外務大臣
ハ只今丁度委員會ニ臨ンデ質問ニ對シテ御
答ヲシテ居ル時デアリマス、只今直
グ此處ニ出席ハ出來マセヌカ、ゴザイマス
（國務大臣荒木貞夫君演壇ニ登ル）
○國務大臣（荒木貞夫） 只今志水君カラ
御尋ノ第一、尙ホ支那ノ根本問題タル排
日侮日ガ終了シナイ故ニ今日軍事行動一段
落ヲ告グタスルコトハ、將來ニ對シテ目
的ヲ達成スル所以デアリナイノデアリカ、
斯ウ云フ御質問ノヤウニ承リマシタガ、元
來今同ノ上海派兵ハ、陸軍ノ受ケマシタ任
務ト致シマシタハ、上海附近ノ居留民ノ保
護竝ニ共同租界ノ安寧秩序ヲ保ツ爲デア
タノデアリマス、故ニ先般來御承知ノ如キ
行動ニ依リマシタ、略、其目的ヲ達シマシ
テ、只今ノ所支那軍ニシテ大兵ヲ集中シ、
若クハ我々ノ向テ攻撃動作ヲ執ラザル限り、
統帥部ノ意見ト致シマシタハ、現有兵力ハ
必要ナシ、更ニ内地ニ在テ待機シマシタ、必
要ガアル場合ニ出シテ差支ナイト云フ意見
ガアリマシタノデ、先般約一師團半ノ者ガ
歸還ヲ命ゼラレタノデアリマス、即チ茲ニ
軍事行動ト致シマシタ、任務ヲ受ケマシタ
範圍ニ於テ一段落ヲ告グタス所以デアリマシ
タ、排日侮日ヲ終局ラスベキ目的ハ、自ラ此
軍事行動ノ一段落ト別ノ問題ニナリマス、
デ、軍事行動一段落ヲ告グタト致シマシタ、
必要ナ兵力ハ殘シテ、他ノ者ヲ内地ニ歸還
イタサセタ次第デアリマス、御承知ヲ
願ヒタイト存ジマス、長江方面……第二
點デアリマシタガ、長江方面ニ對スル、尙
ホ上海以外ニ居留民ガアルガ、是ハ如何ニ
スルカト云フ御尋ガアリマシタ、是ハ寧ろ
海軍ノ平時ノ任務ニ屬シマスコトト、及ビ
外務ノ色ニナ處置ニ關スルコトガ多イト存
ジマスルガ、海軍大臣モ居ラレマス、
陸軍ニモ關係ガ無クハナイノデアリマス、
此點モ申上ゲテ置キタイト存ジマス

ガ、將來此方面ニ於テ更ニ惡化ヲ致シマスルヤウナ場合ニハ、恐ラクハ或ハ海軍ヲ増派ヲ致サレバヤウナコトモアラウト存ジマスルシ、場合ニ依テハ又陸軍ガ此方面ニ行動スルコトモアラウト存ジマスルガ、是ハ外交ノ手段其他ノ方法ニ依リマシテ、斯様ナ事ノナイヤウニ致サス方針ヲ執テ居ルコト存ジテ居リマス、第三ノ點ハ、今回アスコデ中立地帯又ハ停戰條約ト云フヤウナモノヲ結ンデハ、精銳ナル軍隊ノ今後ノ行動ニ妨害ニナラナイカ、斯ウ云フ御尋ノヤウデアリマシタガ、今回ノ派兵ハ只今申上ゲマシタ如クニ、上海附近ニ於ケル所ノ居留民ノ保護並ニ共同租界ノ康寧ニ在リタノデアリマシテ、一般ノ政策ノ上カラ、日支ノ間ニ於ケル全面的戰爭ヲ惹起スルコトヲ出來得ル限リ避ケタイ、斯ウ云フ方針ニ基イテ居リマスノデ、從ヒマシテ中立地帯等ガ設ケラレマシテ、上海ガ非常ニ安寧ニナリマスルコトハ、政策ノ上カラ非常ニ必要デアルト考ヘマス、從ヒマシテ我々軍部ノ行動ト致シマシテハ、茲ニ政略ニ關スル……即チ日支ノ全面戰爭ヲ避ケマシテ、日支ノ眞面目ノ鬭爭ニ至ラナイヤウニ致シマシテ、而モ上海ノ安寧ガ維持サレ、居留民ガ保護セラレト云フ爲ニハ、必要デアルトスルナラバ、此方法モ一ツノ方法デアルト存ジマスノデ、政略ト戰略ノ協調ニ依リマシテ、此事ヲ終始イタシタイト考ヘテ居リマス故ニ、此中立地帯ヲ設ケマス、若クハ停戰ヲ致シマシテモ、此大目的ノ爲ニハ、協調ヲ致スベキモノト考ヘテ居リマス、併ナガラ今後支那ニシテ尙ホ覺ラズシテ、不誠意ノ上ニ更ニ多クノ兵ヲ増加シ、茲ニ戰爭行爲ヲ致サナケレバナラヌト云フ不幸ヲ見ル場合ニ於キマシテハ、斯様ナ中立地帯ヲ設ケマシテモ、亦遺憾ナク行動ヲシ得ル方法モアラウト考ヘテ居リマス、要ハ目的ニ從ヒマスル政略ト戰略ノ協調ニ依リコトデアリマスノデ、此點ハ十分ニ御諒承ヲ願ヒタイ

ト存ジマス、滿洲ニ關シマスル點ガ第四點ノヤウニ考ヘテ居リマシタガ、滿洲ノ問題ハ只今總理大臣カラモ御答辯ガアリマシタ如クニ、國防上ノ關係カラ申シマシテモ、滿洲ト云フモノハ平安デアルト云フコトガ國防上必要デアリマスノデ、過去永イ間滿洲ニ於キマシテ之ヲ主張シテ參リマシタノデアリマス、從ヒマシテ今回ノ變ニ依リマシテ、幾度カ滿洲ノ禍亂ヲ繰返スコトハ避ケ得ルコトガ、國家ノ上ニ於キマシテモ、國防ノ上ニ於キマシテモ必要ト考ヘマスノデ、若シ何者カニシテ滿洲ノ禍亂ヲ亂サントスル者ガアリマスナラバ、斷ジテ是ハ許サザル覺悟ヲ持ツ必要ガアルト考ヘテ、此方法ニ向テ進ンデ居ル次第デアリマス、又之ニ對スル所ノ各種ノ準備ニ付キマシテモ、昨日既ニ御報告申上ゲタ如ク、現有兵力ニシテ尙ホ十分ナラズト致シマシタナラバ、更ニ必要ナル兵力ヲモ増派イタサレマシテ、茲ニ永遠ニ滿洲ノ平安ヲ維持シテ、我國ノ各種ノ目的ニ副フヤウニ致スヤウニ致シタイトソレモ、考究中デゴザイマス、上海ノ租界ノ戒嚴ノコトニ付キマシテハ、マダ詳細ノコトヲ耳ニ致シテ居リマセヌノデ、此點ニ付テハ茲ニ御答ヲ只今スル資料ヲ持チマセヌノデ、御承知ヲ願ヒタイト存ジマス

〔志水小一郎君演壇ニ登ル〕

○志水小一郎君 總理並ニ陸相ノ御答辯ニ依リマシテ、政府ノ御方針モ荒方推測ヲ得ルニ足ルトハ思フノデアリマスケレドモ、尙ホ私ノ御尋セント欲スル所ニ付テハ御答辯ガ慚ラヌヤウニ感ズルノデアリマス、デ總理ノ御答辯ハ實ハ餘リ御低聲デアッテ、私ニハ能ク聴取レナカッタノデアリマスガ、是ハ聴取スルコトヲ得ルノ機會ガ他日アルダラウト思ヒマスカラ、強ヒテ御尋ハ致シマセヌ、總理ハ、滿洲ノ所謂滿洲新國家等ニ付テハ斯ク／＼ナランコトヲ希望スルトカ何トカ云フ御希望ノ點ガ多クアッタヤウデ

アリマスガ、是モ私ハ所謂滿洲新國家ナルモノガ健全ニ成立發達存在セムコトヲ切ニ希望シテ居ルノデアリマス、希望ノコトハ御尋モセヌノデアリマスガ、上海問題等ニ付テハ、私ノ御尋ガ少シク迂曲ニ過ギタカラシテ、從テ御答辯モハキリシナカッタノデハナイカト思フノデスカラ、無遠慮ニ極ク露鋒ニ、御尋ノ意味ヲモウ一遍茲デ説明ヲ致シマス、私ハ如何ニモ陸海軍ノ軍事行動ニハ甚ダ敬意ヲ表シ満足ヲ致シテ居ルノデアリマス、併ナガラ此機會ニ於テ多大ノ陸海ノ兵力ヲ撤回スルコト云フガ如キハ所謂功ヲ一篋ニ缺クヤウナコトデハナイカ、モウ一押シ徹底的ノ御行動ガ出來ヌモノデアラウカ、此際多大ノ兵力ヲ撤回スル如キモノハ遺憾ニ堪ヘヌト思フノデスカラ、撤回スル時期デハナイノデハナイカ、軍事行動ニ一段落ヲ告ゲタリトシテ撤回セラレル御趣旨ガ何分私ニハ分ラヌノデスカラ、ドウモ罷ラ得テ望ム、モウ一押シヤッテ頂キタイト云フ滿腹ノ希望ガアル爲ニ、御尋ヲシタノデアリマス、ソレカラ併セ伺ヒマスルノハ、滿洲出兵ノ目的ハ帝國臣民ノ生命財產ヲ局地ニ保護スルコト云フコトハ、能ク豫テ承ハッテ承知シテ居ルコトデアリマスガ、其外ニマダ目的ガアルト聞コエマスルヒタイ、ソレハ支那當局及支那國民ガ多年我ニ對シテ幾多ノ無禮千萬ナ非禮ヲ働クノデアリマス、是ハ是マデ軍事行動ヲ以テ加ヘラレタ位ノコトデハ、ナカ／＼對手ハ反省セヌデアラウト思フ、膺懲ヲ言フニ由ナク反省ヲ言フニ由ナシ、モウ一押シト云フ所ニナッテ兵ヲ撤回サレト云フコトハ甚ダ遺憾ノヤウニ思フノデアリマスガ、抑、政府ノ御方針ハ、上海ノ出兵ノ目的ト云フモノハ、帝國臣民ノ生命財產ヲ局地ニ保護スルコト云フコトト、上海ナル共同居留地ノ安寧ヲ致スト云フ此二廉ニ止マッテ居ルノデアリマスガ、世間デ專ラ噂スルガ如ク、彼

ガ多年我ニ對シテ加フルトスルノ種々ナル排日排貨暴行虐殺ト云ハムガ如キ種々ノ非禮ヲ、此機ヲ以テ十分ニ懲戒シテ反省セシムルト云フヤウナコトハ、政府ノ出兵ノ目的ニハ含ンデ居マセヌカドウカ、本員ノ御尋ハ無論含ンデ居ルト云フ意味ニ於テ、其前提ノ下ニ御尋シテ居リマスガ、サウ云フコトハ出兵ノ目的ニハ無イノデアリマスカドウカ、ソレカラ陸相ノ御答ニ、滿蒙ノ治安ト云フモノハ絕對ニ必要デアアル、ソレデ豫テノ方針ノ如ク滿蒙ノ治安ヲ紊亂スル者ガアッタナラバ、何人タルヲ問ハズ立ドコロニ之ヲ鎮壓鎮定シテ、サウシテ當初ノ目的ヲ達セザレバ已マヌト云フ御答辯ノヤウニ伺ヒマシタガ、果シテソレナラバ、本員ハ其點ハ滿腹ノ贊成ヲ致スノデアリマス、唯滿洲ノ陸海軍ノ兵力ヲ、上海ノ陸海軍ノ兵力ヲ撤回スルコト云フモノハ、マダ其期ガ至ッテ居ナイノデハナイカト云フコトヲ露鋒ニ御尋シタイノデアリマス、之ヲ一段落ヲ告ゲタリトシテ、今日ノ情況ニ満足セラレテ之ヲ撤回サルコト云フコトニナッタナラバ、陸海軍ノ多大ノ功勞モ到頭十分ノ效ヲ奏セズシテ終ルト云フコトナルノデアリナイカドウカ、ソレカラ又中立地帯條約トカ停戰條約トカト云フモノヲ、軍略以外ニ締結セラレタナラバ、其結果此軍事行動ハ非常ニ曠日彌久、所謂意外ノ持久戰トナッテ、其結果我ニ不利ナルモ、利ナル點ハ一ツモ無イデアリマセヌカト云フコトヲ御尋ネ致シマシタガ、之ニモハキリシタ御答ガ無カッタヤウデアリマスガ、爲シ得レバ極メテ簡單明瞭ニ右等ノ素人質問ニ付テモ御答ヲ希望スルノデアリマス

〔國務大臣荒木貞夫君演壇ニ登ル〕

○國務大臣(荒木貞夫君) 重ネテノ御尋ニ對シマシテ、更ニ御答ヲ致シテ置キマス、排日毎日ヲ根絶ヲ致シマスル點ハ、日支ノ親善ノ關係ニ於キマシテ、最モ必要ナル要件デアリマスルガ、是ハ單ニ武力行爲ノミ

デハ十分ニ達成シ得ラレマセヌノデ、是等ニ付キマシテハ、根本的ノ對支政策トシテ、政府ガ別ニ考究セラレテ居ル、又執テ居ラルル所ノ方法デアリマスノデ、軍ノ行動ト致シマシテハ、只今申上ゲマシタ如クニ、上海ノ居留民ノ保護並ニ共同租界ノ康寧ニ在リマスルノデ、其目的ヲ達シマシテ、既ニ支那軍ガ再び起チ得ザル程度ニ至ラバ、デアリマス、又昨日モ經過報告申上ゲマシタ如クニ、全面的戦争ヲ避ケルコトハ……此際日支並ニ國際間ノ關係ニ於テ有利ナルモノトハ認メマセヌト云フコトノ爲ニ、局地ニ此問題ヲ局限スルコトノ必要ヲ見マシタノデ、ソレガ故ニ目的ヲ達シマシタ上ニ、統帥部ニ於キマシテ長ク廣野ニ大兵ヲ暴スヨリモ、近イ所デアリマスルノデ、歸還ヲ致シマシテ、内地ニ於テ待機セシムル必要ガアル、茲ニ約一箇師團半許リノモノニ歸還ヲ命ゼラレタノデアリマス、一段落ヲ告ゲタト申シマスルコトガ、戰鬪行爲ノ戰場ニ於ケル一段落ヲ告ゲタト御承知下サ、タナラバ明瞭デアラウト思ヒマス、滿蒙ノ方面ハ只今御話ノアリマシタ點デ、私カラ再び申上ゲルコトモ必要ハナイト考ヘテ居リマスガ、十分ニ之ニ付テハ努力ヲ致シテ居リマスルノデアリマス、第三ノ中立地帯ノ問題デアリマスルガ、是モ軍事行動ヲ本當ニ致シマスル上ニ付テハ、幾多ノ斯様ナ條約若クハ中立地帯ノ障害ガナイコトガ必要デアル場合ガ多クアルノデアリマス、御心配ノ如クニソレガ爲ニ軍事行動ニ制肘ヲ受ケルト云フコトハ不利ナ點ガアルノデアリマスルガ、今回ノ派兵ガ只今ノ如クニ全面的戦争ヲ避ケテ日支ノ關係ヲ成ルベク又ニ糾ラズシテ親善關係若クハ總テノ問題ヲ解決イタシタイト云フ希望ノ下ニ動イテ居リマスルノデ、政略ト戰略トノ協調ヲ取リマシテ、國策ノ遂行ニ資スルト云フコトガ最も肝要デアリ、斯様ナ場合ガ最も好イ適例ト存ジマスノデ、戦争ヲ目的ト致

シマスルヨリモ、此事件ヲ終局……收拾ヲ致シマスルコト云フコトガ目的デアリマスル爲ニ、中立地帯ヲ設ケ又ハ停戰ヲ致シマスルト云フコトハ、國策ト相違シデ、軍ト致シマシテハ協調スベキ一事ト存ジテ居リマス、又之ガ爲ニ今後ノ軍事行動ニ障礙ヲ及ボスヤウナコトハ無イモノデアリ、又障礙ヲ及ボス場合ガ假ニアリト致シマシタナラバ、是等ノ問題ニ關シマシテ適當ナ處置ヲ取ル方法モ他ニ講ゼラレルト存ジマスルノデ、只今御心配ノ點ハ全然ナイコトト存ジマス、御答ヘ申上ゲマス

(政府委員伯爵堀田正恒君演壇ニ登ル)

○政府委員(伯爵堀田正恒君) 御尋ガ海軍ノコトニ關シテ居リマシタ爲ニ、私カラ簡單ニ御答辯申上ゲマス、上海方面ニ於キマスル海軍ノ軍事行動ノ目的ハ、政府當初ノ聲明ノ通りニ、同方面ノ在留邦人ノ生命財産ノ保護及ビ上海共同租界ノ安全確保ニ在リタノデゴザイマス、而シテ支那軍ノ攻撃ニ對シマスル自衛ノ手段ヲ執リタ次第デゴザイマス、上海附近ノ支那軍ノ壊滅ノ結果右ノ目的ハ概ネ達成セラレマシタノデ、此方面ノ軍事行動ハ茲ニ一段落ヲ告ゲタ次第ト存ジマス、上海ニ於キマスル排日排貨其他ノ事ハ今後ノ日支ノ交渉ニ俟ツベキモノデゴザイマスルガ、同方面ノ事態ハマダ十分平穩ニ歸シタトハ申サレマセヌノデ、平時ニ派遣イタシテ居リマスル艦船以外ニ、今回ノ事變以來多數ノ艦船ヲ派遣イタシテ居リマシタガ、最近コチラニ戻リテ参リマシタガ、尙ホ平時以上ニ艦船ヲ殘シマシテ十分警備ノ任務ヲ盡シテ居ル次第デゴザイマス、是ダケ御答辯申上ゲマス

○議長(公爵德川家達君) 志水君ノ質疑ハ終了シタモノト認メテ宜シウゴザイマスカ

○加藤政之助君 私人尙ホ質疑ヲ致シタコトガ有ルノデアリマスガ、前回……

○議長(公爵德川家達君) 通告ノ質疑ハ終リマシタガ、加藤君ノ總理大臣ニ對スル質

疑ノ答辯ガマダ殘リテ居ル趣デゴザイマス、加藤君ハ何カ御發言ナサルノデアリマスカ

○加藤政之助君 サウデゴザイマス

○議長(公爵德川家達君) 御登壇ヲ願ヒマス

(加藤政之助君演壇ニ登ル)

○加藤政之助君 私人昨日財政經濟ニ關係ノ數箇ノ問題ヲ提起イタシテ總理大臣及大藏大臣ノ御答辯ヲ求メタノデアリマス、所ガ公債發行ノ問題、國際貸借ノ問題、財界安定ノ問題、之ニ對シテハ遺憾千萬デアリマスガ、大藏大臣カラ只今マデ何等ノ答辯ヲ受ケナイ、唯私ノ提起イタシマシタ問題ノ中、軍備ノ經濟化及減稅、此問題ニ付テ總理大臣カラ御答ヲ得タノデアリマス、所ガ其御答ハ極メテ不満足千萬デアアルノデアリマス、何故デアアルカト申シマスルコト云フト、總理大臣ハ成程サウ云フコトヲ自分ガ言ッタコトガアルカモ知ラヌガ、恐ラクソレハ十數年前ノ話デアッタ、今日ノ問題デハナイト云フ御答辯デ、今日ハ其問題ニ付テ總理大臣ハ實行ノ責任ヲ御感ジニナッテ居ラヌヤウニ見ユルノデアリマス、私ハ此質問ヲ提起スル前ニ、無根ノ事實ヲ掲ゲテ政府ヲ攻撃スル考モ何モナイ、唯現在ノ事實ニ即シテ、サウシテ政府ノ答辯ヲ促スノデアアルカラ、深切明瞭ニ御答ヘラ願ヒタイト相當敬意ヲ拂フテ申述ベクノデアリマス、然ルニ總理大臣ノ御答ハ極メテ不深切デアルト思フ、何故サウデアアルガト申シマスルコト云フト、只今申上ゲタ二問題ハ、今ノ總理大臣ガ昭和五年九月ノ政友會ノ大會ニ於テ、政策宣言ノ中ニ明瞭ニ掲ゲラレタ問題デアアル、次デハ秋田市ニ開カレタ東北大會、是ニ於テモ其問題ヲ御繰返シニナッテ居ルノデアアル、十年ノ古キ問題トコロデハナイ、生々シイ僅カ一年餘リ前ニ、政友會ノ總裁トシテ、其政策ヲ發表シテ國民ニ誓ハレタ問題デアアルノデアリマス、ソレデ假ニ茲ニ朗讀イタシテ見マス、其一節ヲ……今日

ノ非常時ニ於テハ事業界自然ノ成行ニ放任セズ、國家ノ力ニ依ラナケレバ、如何トモスルコトハ出來ヌ、我が黨年來ノ主張タル行政財政官業及官有財産ノ徹底的整理ト軍備ノ經濟化トニ於テ五千萬圓程度ノ減稅ヲ斷行シ、疲弊困憊ノ極ニアル民力ノ涵養ヲ圖ラネバナラヌ、而シテ産業政策ノ資金缺乏スル場合ニハ、市場ノ狀況ニ依リ公債ヲ募集シテ、之ヲ財源トスルモ差支ハナイ、是レ我が黨ノ不景氣對策ノ根本義デアアル、現内閣ハ不景氣ヲ醸成シタ所ノ内閣デアアル、併シ我が黨ガ政權ヲ握レバ、此ノ根本義ニ依リテ不景氣ハ回復ガ出來ル」ト云フコトヲ國民ニ誓ハレタノデアリマス、然ラバ此ノ問題ハ政友會ノ總裁ノ犬養君ガ大命ヲ拜シテ内閣ヲ組織シタ以上ハ、即時ニ之ヲ實行シテ國民ニ對スル公約ヲ果スベキデアルト思フノデアリマス、然ルニ何事ゾ、此問題ヲ私が提起スレバ、是ハ十數年前ノ古證文デアアル、ソナチコトヲ今頃實行スルノ責任ハナイト云フガ如キ態度ヲ以テ御答ヘニナリマシタコトハ私ハ極メテ不満足デアリマス、犬養内閣ハ直ニ之ヲ實行シテ、サウシテ國民ノ窮狀ヲ御救ヒニナルト云フ決心ガ無ケレバナラヌ、ソレガ有リマスカドウカラ、ハッキリ此席デ答辯ガ願ヒタイトスウ思フ、其他問題ハアリマスガ、モウ時刻ガ切迫イタシテ居リマスカラ、私ハ先ツ此點ヲ承テ置キマス

(國務大臣犬養毅君演壇ニ登ル)

○國務大臣(犬養毅君) 加藤君ノ御尋ハハッキリ分リマシタ、私ハ實ハ餘程前ノ、私ガ日露戦争カラ、大戰前カラ、其時分ニ唱ヘタ、ソレヲ繰返シテヤラレタ、餘程古證文ヲ擔ガレタモノト思ヒマシタカラ、五千萬圓ハ其類ダラウト思ウテ、ウツカリ御答イタシマシタガ、是ハ成程黨ノ大會デ言ッタノデアリマス、五千萬圓程度ノ減稅ハ出來ル、斯ウ云フコトハ確ニ言ッタ、ソレハ私ガ思ヒ違ヒデ、加藤君サデアルカラ、餘程

古證文ヲ繰返サレタモノトモ、御答シタ、是ハ失禮デアッタ、私ノ誤リ、無論行フ、無論行ヒマスガ、今日ハドウ云フ場合デアリカト云フ、此内閣ハ破産状態ニナリタ、權限屋ヲ引受ケテ居ルノデアリマス、ソレ僅ナ兵ヲ出スト云ヘバ、緊急勅令ヲ出サナケレバ出来ナイ、三文ノ金ガナイ、サウ云フコトニサレテ居、總テノ政治ハドウカト云ヘバ、醫者ト云フ醫者ヲ澤山集メテ、種々ノ藥ヲ療治サレタト云フ揚句ノ病人ヲ受取テ居ルノデアリマス、ソレ故ニ急ト云ウテ、サウ急ニ行クモノデゴザイマセヌ、無論ヤリマス、誠心誠意ドコ迄モ行フデス、併ナガラ加藤君ノ御求メノヤウニ、サウ手ノ裏ヲ返シタヤウニサウ急ニハ參ラスト云フコトダケハ御承知ヲ願ヒタイ

○加藤政之助君 簡單デゴザイマスカラ、自席カラ申述ベマス、犬養君ガ……總理大臣ガ只今御答辯ニナリマシテサウシテ其公約ヲ近クナサレタコトヲ御認メニナル以上ハ、其ノ點ニ付テハ議論ハアリマセヌ、又茲ニ努メテ實行スル積リダガ、急ニハ行カヌ……手ノ裏返ス様ニ直グヤレトハ申シマセヌケレドモ、併シスウ云フコトヲ國民ニ公約シタ以上ハ、之ヲ行フ責任ガアル、前ノ答辯ニ依リマス、古證文デアッテ、ソレヲ實行スル責任ハナイカノ如ク申サレタカラ、私ハ此點ニ付テ極メテ不満足ヲ感ズル者デアリマス、併シ責任ヲ以テ實行ナサルト云フコトデアリマスレバ、ソレデ宜シウゴザイマス

(國務大臣高橋是清君演壇ニ登ル)

○國務大臣(高橋是清君) 昨日衆議院ノ方ニ參テ居、當席ニ出席ガ出来マセヌ間ニ加藤君カラ御質問ガアリマシタ、其大要ヲ政府委員ガ書留メマシテ、昨夜受取リマシタ、其事柄ハ四件程アルヤウデアリマス、第一ハ減債基金制度ハ法定ノモノデアリカラ、一般會計カラ其繰入ヲ停止スルコトハ……之ヲ止メルト云フコトハ、其時増税

又ハ公債募集ノ出来ナイ場合ニ於テノミ考慮スベキモノデアリ、斯ウ云フコトデアリ、固ヨリ此繰入停止ト云フコトハ、非常ナ場合デアリマシテ、他ニ財源ヲ求ムルノ途ガナク、已ムヲ得ザル場合ニ是ハスルコトデアリマス、餘リ加藤君ノ御考ト、私ノ考ヘアル所ト變リハ無イヤウニ存ジマス

(加藤政之助君減債基金ノコトハ御尋ヲシタ覺エハナイト述フ)

ソレデハ此事ハ何カ聽キ違ヒデ私ノ手許ニ參ッテノグラウト思ヒマスカラ、減債基金ノコトハ不用ニナリマス、第二ニ四千四百萬圓ノ繰入停止ハ民間金融ノ梗塞ヲ更ニ甚シカラシムルト云フ御説ノヤウデアリマス

(加藤政之助君甚ダ恐レ入リマスガモウ少シ高聲ニ御願ヲ致シマスト述フ)

斯ウ云フ御尋デアッテ、デスカ、私ハ最初ニ先ヅ伺ヒタイ、四千四百萬圓ノ減債基金繰入停止スルコトハ、民間ノ金融上既ニ梗塞シテ居ルモノヲ尙ホ甚シカラシムル、ソレダカラ宜クナイ、斯ウ云フ御考ナンドスカ

○加藤政之助君 サウデハアリマセヌ、ソレハ絕對ニ違ヒテ居ル、サウ云フコトヲ私ハ一言モ申シマセヌ、私ノ御尋ニシタノハ、公債ノ發行ニ要スル金額ハ極メテ多イ……御分リニナリマシタカ

○國務大臣(高橋是清君) サウスルト第四ノ此七年度ノ計算デハ加藤君ノ御測定デハ、公債ノ發行額ガ八億圓ニモナル、サウスレバ此公債ヲ發行スルノニ、減債基金ヲ以テ市場カラ買入レテ、公債ノ市價ヲ高メルト云フコトヲシナケレバ、公債發行ノ條件ガ大變惡クナル、斯ウ云フコトデアリマスカ

○加藤政之助君 サウデハアリマセヌ、私ノハ公債ノ發行額ハ殆ド八億ニモ上ボルヤウデアリ、其上ニ尙ホ二億バカリノ借換ガアル、サウスルト此巨額ノ公債ヲ今日ノ此窮迫シタ經濟界ニ、市場ニ於テ募集スルト

云フコトハ極メテ困難デアリマセウ、大藏大臣モ市場ノ募集ハムヅカシカリサウニ御話ガアッタコトガアルヤウデアリマス、然ラバ市場募集セヌト云フ以上ハハハ預金部ノ預金ヲ利用スルカ、然ラザレバ日本銀行デ以テ、之ヲ引受ケテ紙幣ヲ發行スルカ、此二ツ外ナイヤウデアリガ、ソレヲ何レノ方針ヲ執リニナル積リデアリカ、實行ノ果シテ見込ミガアルヤ否ヤ、ソレガナケレバ、租税ヲ増スト云フコトニナラナケレバナラス、其點ヲ御尋シタ

○國務大臣(高橋是清君) サウデスカ、先ヅ第一ニ御答ヲシテ置キタイノハ、加藤君ノ御推定ニナリマシタ公債ノ額ニ至ッテハ、只今之ヲ私ガ御同意トハ申シ兼ねマス、併シ刻下必要トスル公債募集ニ付キマシテハ、今日民間ニハ其應募力ノ甚ダ微々タルモノデイルト云フコトハ申上ゲマス、大シタモノヲ之ニ向テ發行スルト云フコトハ、非常ナ無理ニナリマス、從テ預金部ノ力、及ビ日本銀行ノ力ニ俟ツヨリ外ニ途ハナイノデアリマス、從テ此公債發行ヲ成ルベク少額ニ止メタイト努メル次第デアリマス、何レカト云フ一方デハナイ、兩方ニ俟タネバナラス、預金部ト日本銀行ト兩方ニ俟タネバナラス、ソレダケデアリマスカ

(加藤政之助君「チョット……」ト述フ)

○議長(公爵徳川家達君) 加藤君御發言ニナル前ニ、規則ニ依ッテ議長ト御申述ヲ願ヒタイ、加藤君ノ發言ハ禁止ハシマセヌ、御發言ニナルナラバ、先ヅ以テ議長ト御呼びビヲ願ヒタイ、斯ウ申上ゲタノデアリマス

○加藤政之助君 承知イタシマシタ、甚ダ失禮イタシテ相濟ミマセヌ、議長

○議長(公爵徳川家達君) 加藤君

○加藤政之助君 チョット今ノ大藏大臣ノ御尋ネニ御答ヘ致シマス、國際貸借ノ……大藏大臣ハ金ノ再禁止ヲ實行スレバ國際貸借ハ好轉スル、何故デアリカト言ヘバ爲替ガ下落スル、下落シタダケハ輸入品ガ少ク

ナル、同ジデアリ、故ニ輸入ハ是ガ爲ニ阻止セラレ、輸出ハ値段ノ下落ノ爲ニ増加スル、ソコデ國際貸借ガ好轉スルト云フコトヲ、大藏大臣ハ放言ナサレテ居ラシヤルヤウデアリ、所ガ事實ハ之ニ反シテ居ル、昨年ハ一月二月ニ輸入超過デアリニ拘ラズ輸出超過……所ガ今年ハ逆ニ輸入超過ヲ續ケテ來テ居ルノデアリマス、而モ其金額ハ一億三千万圓ニ三月中旬迄ニ上ボッテ居ル、斯ウ云フ譯デアリマスカラ、大藏大臣ノ期待ト事實トハマルデ反對ニナッテ居ルヤウニ考ヘル、是デモ尙且ツ大藏大臣ハ國際貸借ノ好轉ヲ前途ニ豫期セラルルノデアリカドウカ、ソレヲ伺ヒタイ

○國務大臣(高橋是清君) 御答ヘ致シマス、私ガ金ヲ再禁止シタ結果、爲替相場ガ下ガル、ソレダケ外國品ガ高クナッテ内國品ガ安クナルト云フ譯デスカ、或ハ外國品ガ安クナッテ、ソコガ能ク分リマセヌガ、兎ニ角此再禁止シタ爲ニ輸入ガ減ッテ、輸出ガ増シテ宜クナルト云フコトハ私モ言ヒマセヌ、直ニサウ云フ結果ガ來ルトハ言ヘナイ、サウ云フコトハ覺エハアリマセヌ、又サウ云フコトヲ直ニ望ム譯ノモノデモナイ、併ナガラ爲替相場ガ下リマスレバ自ラ輸入品ガ高クナルカラ、之ヲ國民ガ使ハナクナルヤウニナルダラウ、一方我國ノ生産品ガ外國ノ金デ計レバ安クナルカラ、輸出ハ寧ロ進ム方ノ傾キヲ持ツト云フヤウナ意味ノ話ハシタコトハアル、又私ハサウデアラウト考ヘテ居ル、而シテ是ガ公債ニ關係スルト云フヤウナ御話ダガ、ソレモ私ハ此爲替相場ト公債ノ關係シタコトハ話シタコトハナイノデスカ、能ク分ラナイ、國際關係ノ貸借關係ノ均衡ヲ圖ルト云フコトハ勿論期待セネバナラスコトデスカ、ソレ故ニ屢、私ガ申ス如ク、金ノ再禁止ヲシタノハ内ヲ先キニスルト云フ、先ヅ内ヲ整ヘテ而シテ外ニ及ブヤウニセネバナラスト云フコトヲ屢、申シタ、内ヲ整ヘルト云フコトハ、金融其

他ノ手段ヲ以テ先ツ國內ノ産業ノ力ヲ養ヒ、此産業ノ力ガ充實シテ初メテ外國トノ關係ニ於テ貿易上ノ均衡ヲ得ルヤウニナルノデアル、斯ウ云フ意味デ爲替相場ダケデ國際間ノ貸借關係ヲ永久ニ均衡ヲ保タセルト云フコトハ、是ハ手段トシテ……手段ノナイ空論ニ屬スル、勿論爲替相場ニハ、例ヘバ不換紙幣ノ國デアリマシテモ、其國ノ産業ノ力ガ充實シテ、外ヨリ買フ物ヨリモ内カラ出ル物ガ多ケレバ、外國カラ受取リ勘定ニナル、其場合ニ於テハ不換紙幣ノ國ノ不換紙幣ニ對シテモ、外國ノ金ハ下ガル譯デアル、故ニ先ツ内ヲ整ヘルコトヲ先トスルト云フコトガ私ノ常ニ申ス所デアリマス、其外ニ何カ御尋ネガアリマセウカ

○議長(公爵徳川家達君) 休憩ヲ致シマス午後一時三十分ヨリ開會イタシマス午後零時十一分休憩

○議長(公爵徳川家達君) 休憩ヲ致シマス午後一時三十分ヨリ開會イタシマス午後零時十一分休憩

○議長(公爵徳川家達君) 休憩ヲ致シマス午後一時三十分ヨリ開會イタシマス午後零時十一分休憩

○議長(公爵徳川家達君) 休憩ヲ致シマス午後一時三十分ヨリ開會イタシマス午後零時十一分休憩

○議長(公爵徳川家達君) 休憩ヲ致シマス午後一時三十分ヨリ開會イタシマス午後零時十一分休憩

○議長(公爵徳川家達君) 休憩ヲ致シマス午後一時三十分ヨリ開會イタシマス午後零時十一分休憩

○議長(公爵徳川家達君) 休憩ヲ致シマス午後一時三十分ヨリ開會イタシマス午後零時十一分休憩

○議長(公爵徳川家達君) 休憩ヲ致シマス午後一時三十分ヨリ開會イタシマス午後零時十一分休憩

○議長(公爵徳川家達君) 休憩ヲ致シマス午後一時三十分ヨリ開會イタシマス午後零時十一分休憩

○議長(公爵徳川家達君) 休憩ヲ致シマス午後一時三十分ヨリ開會イタシマス午後零時十一分休憩

付キ、日程追加ノ動議ヲ提出イタシマス、ドウゾ御賛成ヲ願ヒマス
○子爵西大路吉光君 賛成
(其他「賛成」ト呼フ者アリ)

○議長(公爵徳川家達君) 林伯爵ノ議事日程追加ノ動議ニ同意ノ諸君ノ起立ヲ請ヒマス
(起立者多數)

○議長(公爵徳川家達君) 過半数ト認メマス、林伯爵ノ登壇ヲ望ミマス
(左ノ報告書ハ朗讀ヲ經サルモ参照ノタメ玆ニ載録ス)

滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案
右可決スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和七年三月二十四日
委員長 伯爵林 博太郎
貴族院議長公爵徳川家達殿

昭和七年勅令第四號
右承諾スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和七年三月二十四日
委員長 伯爵林 博太郎
貴族院議長公爵徳川家達殿

昭和七年勅令第七號
右承諾スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和七年三月二十四日
委員長 伯爵林 博太郎
貴族院議長公爵徳川家達殿

昭和七年勅令第六號
右承諾スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和七年三月二十四日
委員長 伯爵林 博太郎
貴族院議長公爵徳川家達殿

昭和七年三月二十四日
委員長 伯爵林 博太郎
貴族院議長公爵徳川家達殿

昭和七年勅令第十九號
右承諾スヘキモノナリト議決セリ依テ及報告候也

昭和七年三月二十四日
委員長 伯爵林 博太郎
貴族院議長公爵徳川家達殿

○伯爵林博太郎君 只今日程ニ上ボリマシタ滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案外五件ノ特別委員會ノ經過ヲ御報告イタシマス、昨夕特別委員長玆ニ副委員長ノ選舉ヲ終リマシテ、今朝十時ヨリ特別委員會ヲ開會イタシマシタ、政府ヨリ一應ノ説明ヲ願ヒマシテ、而シテ質問討論採決ニ移リマシタ次第ゴザイマス、極メテ簡單ニ此諸案ニ付キマシテノ内容ヲ申上ゲテ見マスルト云フト、第一ノ法律案ハ滿洲事件ニ關スル經費支辨ノ爲メ云々トアリマシテ、昨日日本會議ニ於テ追加豫算六千七百五十萬圓ノ可決ガアリマシタガ、是ガ財源ハナイノデアリマスカラ、已ムヲ得ズ公債ニ依テ致サナケレバナラナイト云フ

○議長(公爵徳川家達君) 此法律案ガ提出ニナリマシタ次第デアリマス、而シテ是ハ昭和七年度ノコトニ關シマス、特ニ四月玆ニ五月マデノ問題デアリマシテ、五月カラ先キノコトハ又更ニ臨時議會ガゴザイマスカラ、其際ニ必要ガアレバ提出スルト云フコトデゴザイマス、第二ノ昭和七年勅令第四號、是ハ金ノ解禁ヲ再禁止スル勅令デアリマス、即チ兌換券ノ……金貨兌換ヲスルコトヲ得ザルコトニ致シマシタ勅令デアリマス、第三、昭和七年勅令第七號、是ハ昭和六年ニ於テ繰入ルベキ元金償還資金ト云フモノハ四千四百萬圓ヲ限リテ、之ヲ繰入ヲ爲サナイト云フコトニナラントデアリマス、ソレカラ第四、昭和七年勅令第六號、第五、昭和七年勅令

第十四號、第六、昭和七年勅令第十九號、是ハ滿洲事件玆ニ滿洲事件ノ時局推移ノ爲メ上海其他ニ於テノ事件ガ起リマシタ爲ニ、第一回トシテハ二千九十一萬圓、第二回ニハ三千四百萬圓、第三回ニハ四千四百萬圓都合六千九百七十一萬圓ノ公債ヲ出スト云フコトニ已ムヲ得ズナクタル云フ簡單ナ問題デアリマス、此第四、第五、第六ハ昭和六年度ニ關スルモノデアリマシテ、昭和七年度ニ關スルモノハ第一ニ申上ゲマシタ法律案デアリマス、此經過ヲ申上ゲマスルガ、討論ニ於テハ何等議論ガアリマセヌ、質問ノ際ニ一委員カラ質問ガ出タ次第デアリマス、其、一委員ト政府トノ問答ニ付キマシテ、極メテ簡單ニ申上ゲテ見タイト思フノデアリマス、即チ解禁ヲ再禁止シタト云フコトニ付テハ、財界ガ非常ニ景氣ガ好クナルダラウト期待シタデアラウケレドモ、實際ハ益、不安ニ陥ルヤウデアル、其點ヲ政府ハ如何ニ調節セムト欲スルノデアルカ、又爲替ノ標準ガ誠ニ一定シテ居ラナイ、又一定スルコトモ出來ナイヤウナ狀況ニアリ、此爲替ノ不安ト云フコトヲ如何ニ統制スル意思デアルカト云フ質問ガ出マシタ、

意見ト財界ノコトヲ考ヘテ見ルト、政府ノ意見ト致シマシテハ、日本デハドウモ金融機關ノ統一ト云フコト統制ト云フコトニ今日マデ缺ケテ居ル、之ガ非常ナ缺陷デアリカラ、此儘ニ此方面ヲ放任スル譯ニ行カナイ、ドウカシテ中央銀行ヲ中心トシテ、銀行ノ金融機關ト云フモノヲ圓滑ニ統一、統制アラシメルヤウニシタイモノデアル、若シモ金ヲ解禁シテ居ル儘ニ、前内閣ノ爲シツツアツタ儘ニ放任シテ行タラドウ云フ結果ニナル、昨年末玆ニ舊節季……新節季ノ時分ガ來タナラバ、日本ノ財界ニ於テハ非常ナ不安ナ時代ガ來タデハナイカ、或ハ思想ノ問題ニ迄モ由々シキ結果ヲ來シハシナカッタカト云フコトヲ我ハ考ヘタノデア

アル、ドウシテモ此解禁ヲ止メルト云フコ

ト云フコトニ

ト云フコトニ

ト云フコトニ

トハ已ムヲ得ナイ結果デアルカラシテ、組
閣後直ニ之ヲ行フ次第デアアル、而シテ爲替
ガ安定スルヤ否ヤト云フコトハ、是ハ人爲
的、作爲的ノ結果トシテ行ハルベキモノデ
ナイ、ソレハ行ヘバ行ヘルカモ知レナイ、
ガサウ云フコトハ宜シイコトデハナイ、日
本ノ財界ノ回復ト共ニ、自力ニ依テ之ガ統
制ヲ圖ルト云フコトガ最も自然ノ方法デア
ルノダ、今日ノ狀態ハ外ヨリハ内、外國ノ關
係ヨリハ内地ニ於ケル産業工業ノ發展ノ方
ガ重大デアルト考ヘルノデアアル、ソレデアリ
マスカラ爲替ノ安定ノ如キモ、他國カラ金
ヲ借入レタリ、色ミナ人爲的ノコトヲヤル
ト云フコトハ、寧ロ避ケナレバナラナイ、
ソレカラ又ドウモ此金解禁後、解禁ヲ止メ
テカラ、結果トシテ財界ガ景氣ガ好クナル
ヤウニ考ヘテ居ラレタヤウダガ、ソレガ好
クナラナイガドウデアアルカ、當局ガ言フノ
ニハ元來金ノ兌換ヲ禁止シタト云フコト
ハ、決シテ景氣ガ好クナル、好景氣ト云
フコトヲ期待シテ居ラナイ、是ハ幾度カ
自分モ言明シテ居ルコトデアアル、尙且ツ禁
止シタト共ニ爲替ガ不安定ニ赴クトカ、財
界ガ不安ニナルト云フコトハ、是ハ禁止ノ
場合ニモ、解放ノ場合、解禁ノ場合ニモ、
其時ニハ必ズ起ルベキ現象デアアル、動搖ハ
其時ニハ已ムヲ得ナイコトデアアル、殊ニ外
國人ノ投資シテ居ル資金三億以上ト云フ
モノハ此爲替ヲ止メタ爲ニ、金貨ノ兌換ヲ
止メタ爲ニ逃ゲテ行タト云フヤウナコトハ
是ハ已ムヲ得ナイコトデアアル、デスカラサ
ウ云フ場合ニ於キマシテ一時動搖スルト
云フコトハ是ハ已ムヲ得ナイコトデアアル
ガ、今後ハ自然ノ工業、商業ノ發展ノ調節

ニ依テ之ヲ解決シテ行カケレバナラナ
イト考ヘル、ソレカラ又質問トシテハドウ
モ物價ハ騰々、必需品ハ可ナリ騰々、居
ル必需品デアアルカラ人モ買フノデアアルガ、
併ナガラ外ノ物價ハ爲替ガ落チタ程ニハ騰々
テ居ラナイ、即チ購買力ガ非常ニ萎縮シテ
居ル、ト云フ風ニドウシテモ考ヘナケレバ
ナラヌノデアアルガ、此點ハ如何デアアルカト
云フ質問ニ對シマシテハ、全體ノ財界ノ回復
ヲ圖ル外ニ仕方ガナイ、即チ先程申上デマ
シタ如ク、先ヅ中央銀行ニ統制力ヲ持タセ
テ、サウシテ私立銀行其他トノ連絡統制ヲ
十分ニシテ行クト云フコトガ第一急務デア
ル、兎ニ角私立銀行ハ一流ノモノデアッテモ、
日本銀行ノ手ヲ借ラズシテ自カラ金融ヲ調
節シテ行カケレバナラヌト云フヤウナル
考ヘニ今日ハ充タサレテ居ルガ、ソレハ甚
ダ面白クナイノデアッテ、此中央銀行ト中
央銀行以外ノ金融機關ガ互ニ助合テ行ク
ト云フ所ノ統制ノ方法ヲ執ルト云フコト
ガ第一ノ急務デアアル、又中央銀行トノ關係
ヲ付ケタクナイ爲ニ、得意先ノ如何ヲ顧ミシ
テ貸金ヲ取入レ、引上ゲルト云フヤウナコ
トヲ自然ナルコトニナル、ソレ等ガ即チ財
界ヲ寧ロ惡クスルノデアッテ、先ヅ以テ此金
融界ノ統制力ヲ圖リタイト思フノデアアル、
而シテ此購買力其他ノ總テ問題ヲ解決シヤ
ウト云フ考ヘデアルト云フコトヲ答ヘラレ
テ居リマス、元來國民ガ生活ノ安定ヲ得ル
ヤ否ヤ、財界ニ於テ安定ガ出來ルカドウカ
ト云フコトハ、是ハ作爲的ノ聲明デハイケ
ナイ、自然ノ力ニ依テ、解決ヲシナケレバ
ナラナイ、ソレニハ總テ此實行ガ先ニ行カ
ナケレバナラナイノデアルト云フ意見ヲ政
府ニ於テハ述べラレタノデアリマス、次ニ

此減債基金ノ繰入レヲ止メタト云フコトニ
付テノ質問ガ出マシタ、是ハ七年度ニモ斯
ウ云フコトヲヤルノデアアルカト云フ質問ニ
對シマシテハ、決シテ是ハ永遠ノモノデア
ル、減債基金ハ繰入レベキモノデアアル
ガ、歳入歳出ガ辻褄ガ合ハナイ場合デア
ルカラ已ムヲ得ズヤッテデアッテ、是ハ永遠ニ
ヤルトカト云フヤウナモノデハ決シテナイ
ノデアアル、從テ七年度ニモ是ハヤルカド
ウカト云フコトハ問題ニナラナイ、又滿洲ニ
モ新國家ガ出來ルコトニナッタガ、大分經費
ガ要ル、是等ニ付テ將來公債ヲ募集スル考
ヘデアアルカ、ドウデアアルカト云フ質問ガ出
マシタ、此問題ニ付テハマダ各省ニ於テノ
調査モナシ、又其要求モ出テ居リマセヌ
カラ整テ居ラナイト云フコトヲ申上ゲル
ト云フコトデアリマシタ、今後サウ云フ意
味ニ於テ公債ヲ發行スルト云フコトニ付テ
ハ、ドウモ無理ガ起ル處ガアルガ、其點ハ
ドウデアアルカ、大藏大臣ハ應募力、應募力
ト云フモノニ自カラ制限ガアル、應募力ヲ
顧ミズシテ、無暗ニ公債ヲ發行スルト云フ
ヤウナコトハ決シテシナイノデアアル、無理
ト云フコトハ此際決シテシナイ、一年デ行
カナケレバ二年三年掛テヤルト云フ方法
モアル、出來ルダケ是ハ自然ニ調節スル方法ヲ
講ズルト云フコトガ主デアアルノデアアル、公債ヲ
發行シテ紙幣ガ増發サレ、紙幣ガ増發サレテ
不換紙幣ガ多クナレバ、從テ財界ニハ惡影響
ヲ及ボスデハナイカ、斯ウ云フコトノ質問
ガアリマシタ、當局ニ於テハ其考ヘハ甚ダ
違テ居ル、成程解禁ヲ止メテシマツテ居ル
シ公債ヲ發行スル、紙ノ紙幣ガドン／＼殖
エルト云フコトハ一方ニ於テ已ムヲ得ズ起
ルケレドモ、健全ナル「インフレーション」

デアレバ少シモ差支ナイ、是ガ投機ヤナン
カノ方法ヲ爆發サセルヤウナコトガアッテ
ハイカスケレドモ、却ッテ紙幣ヲ増發スル
ガ爲ニ産業工業ガ好クナルト云フナラバ決
シテ差支ナイと思フ、必シモ惡影響ノミ
ノ方ヘ行クノデナク、之ヲ好キ方面ニ向ケ
ルト云フコトモ不可能デハナイト考ヘルノ
デアアル、又日本銀行カラ兌換券ヲ發行ス
ルト云フコトハ、必シモ直グソレガ銀行ニ
行クト云フコトハ考ヘラレナイノデアアル、
例ヘバ軍需品ヲ買ヘバ其商人ノ方ヘ直ニ金
ガ參リマスカラ、從テ必シモ銀行ノミニ
ソレガ行クト云フコトハ考ヘラレナイノデ
アル、一般ノ財界ニ直接ニソレガ影響スル
ト云フ方法モアル、要スルニ紙幣ノ發行ト
共ニ紙幣ガ増加スルト云フコトハ、其紙幣
ノ支拂ハルベキ途ガ有益ナル方面ニ向フヤ
否ヤト云フ所ニ重要ナ問題ガアルノデアアル、
紙幣ガ殖エタカラ直グニソレガ、濫發ノ結
果トシテ惡影響ヲ及ボストハ考ヘラレナ
イ、斯ウ云フ意味ニ於テ政府ハ答ヘテ居ル
ノデアリマス、其他尙ホ細カイトニ互ッテ
ノ質問應答ガアリマシタガ、大體ノ意味ハ
之ヲ以テ盡キテ居ルト考ヘマスルカラ、之
ヲ以テ省略ヲ致シマス、斯ク致シマシテ本
日午前十一時半、討論ニハ別ニ大シタ異議
ナク全會一致ヲ以テマシテ此法律案ハ可決、
他ノ五件ハ承諾イタシマスコトニ相成リマ
シタ次第デゴザイマス、此段特別委員會ノ
經過ヲ御報告イタシマス。
○議長(公爵徳川家達君) 只今特別委員、長
林伯爵ノ報告セラレマシタ六案中、先ヅ此
際問題ト致シマスノハ滿洲事件ニ關スル經
費支辨ノ爲公債發行ニ關スル法律案ノ第二
讀會ヲ開クヤ否ヤデゴザイマス、別ニ發言

省モナイト認メマスカラ採決ヲ致シマス、
本案ノ第二讀會ヲ開クベシトスル諸君ノ起
立ヲ請ヒマス

〔總員起立〕

○議長(公爵徳川家達君) 全會一致ト認メ
マス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第二讀會
ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵池田政時君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 直ニ本案ノ第二
讀會ヲ開クト云フ四大路子爵ノ動議ニ御異
存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(公爵徳川家達君) 原案全部問題ニ
供シマス、原案ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認
メマス

○子爵西大路吉光君 直ニ本案ノ第三讀會
ヲ開カレムコトヲ希望イタシマス

○子爵池田政時君 贊成

○議長(公爵徳川家達君) 西大路子爵ノ動
議ニ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(公爵徳川家達君) 第二讀會ノ決議
通りデ御異存ゴザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認
メマス

○議長(公爵徳川家達君) 他ノ承諾ヲ求ム
ル件五案ハ、一括シテ議題トシテ御異存ゴ
ザイマセヌカ

〔異議ナシ〕ト呼フ者アリ

○議長(公爵徳川家達君) 御異議ナイト認
メマス、各案ニ承諾ヲ與フルコトニ同意ノ
諸君ノ起立ヲ請ヒマス

〔總員起立〕

○議長(公爵徳川家達君) 全會一致ト認メ
マス

○議長(公爵徳川家達君) 是ニテ本日ハ散
會イタシマス
午後二時一分散會

貴族院議事速記録第二號正誤

頁	段	行	誤	正
二三	四	九	匪	匡
同	同	同	原	花

